

みんなで
話そうてみ
やっとうよう!

Let's try,

**Discussion
& workshop
about decar
bonation!**

参加者による交流

— 意見交換・情報共有／ワークショップ —



令和5年9月15日
はだの脱炭素コンソーシアム事務局

あたまの体操

Wake Up!

脱炭素にちなんだクイズに挑戦。～中学2年社会・理科「中間テスト」編～

森林には、二酸化炭素を吸収する働きがあります。

では、日本が抱えている**森林の問題**はなに？

※日本と世界では、問題点が違うんだね。

2

A

樹木の高齢化

B

樹木の種類の少なさ

C

面積の減少

太陽光発電は、今や再エネ導入の登竜門。
では、多くのソーラーパネルに使われている
英語では **“シリコン”** と呼ばれる元素はなに？

2

A

ホウ素

B

フッ素

C

ケイ素



参加者による交流

第一部：みんなで話そう！（再）

～意見交換から“課題やヒント”を見つけ出そう！～

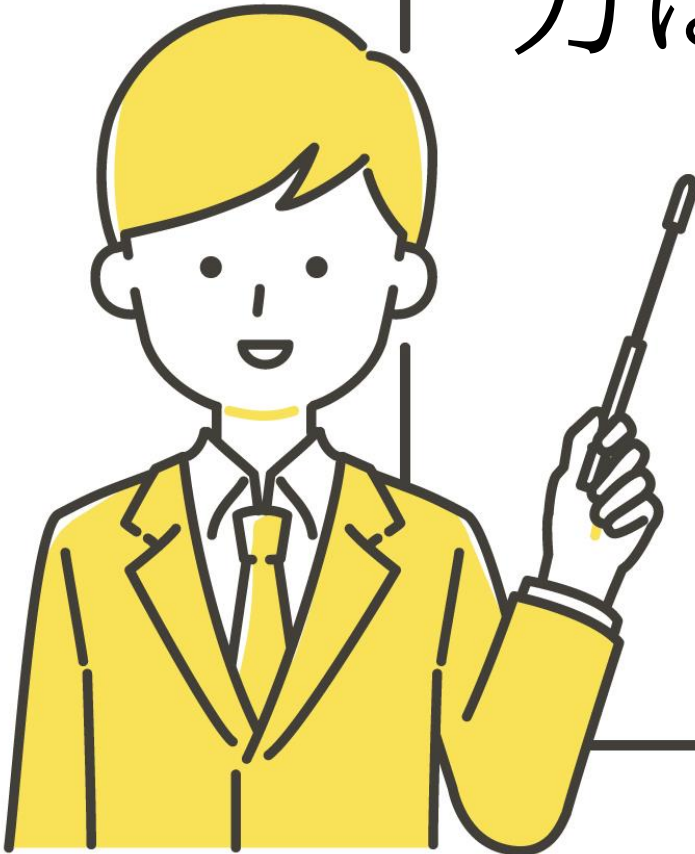
第二部：まとめて、描く。

～現状把握と課題の深掘り、絵姿を描きはじめよう！～



お約束

今日もこの会場にいる
方は、大切な仲間です。
互いの意見を尊重
しながら、みんな
で協力していきま
しょう。



3マスで みんなの心をつかめ！

<制限時間40分（6～7分／1人の持ち時間）>

やること①：時間の限り盛り上がってください！

やること②：ワークショップの題材を見つけてみよう！（脱炭素の課題、取組など）

まとめて、描く。

< **制限時間50分**（ワークショップ40分＋発表5分×2グループ） >

- やること①：意見交換で見つかった「課題」や「やりたい取組」について、その理由と解決・実行策を検討しよう！
- やること②：共通テーマの設定によるワーク／個別テーマ（意見交換と同形式）の設定によるワーク、どちらでもOK！



自社の取組に、どう生かしていけるか。

ワークを進めるヒント「共通テーマver.」

深掘りするテーマは、例えばこんな。

誰でも無理なく、実践できる取組を見つけない。

①その理由は？

- ・無理強いをしたくないし、社員の反発も大きそうだから...
 - ・ステークホルダーやサプライチェーンも気にし始めたから...
 - ・何か始めないと、今後コンソーシアムでも気まづくなりそうだから...
- など

②「①」の理由をさらに問う。

- ・そもそも、脱炭素の理解が社内(員)のどこまで共有化されている？
- ・具体的な要求(数値や時期、ペナルティ等)はある？
- ・そんなことはないですよ(笑)

ポイント

理由を複数回、突き詰めると本当の理由が見えてくる?!



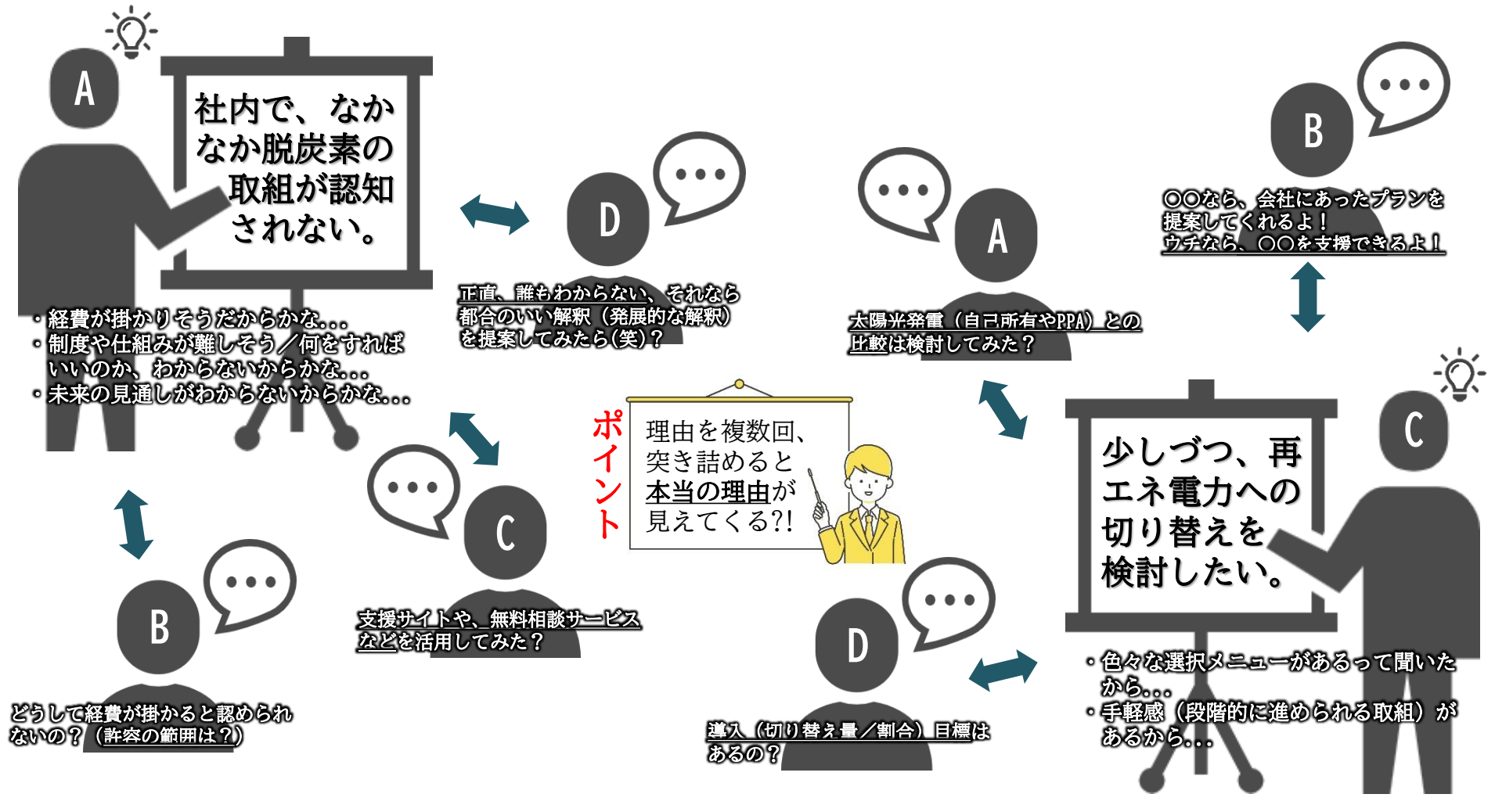
③解決策を模索していく。

- ・アンケートを取ったら、意外とみんな意識していて、アイデアを出してもらえるかも!
- ・サプライチェーン排出量を算定してみたら、社内で行き組むべき事項が見えてくるかも。(先進的な事例になるかも?!)

(例) 一日の脱炭素行動の振り返り表を作ることにした。

ワークを進めるヒント「個別テーマver.」

深掘りするテーマは、それぞれ。



お疲れ様でした。

